

今号の記事

<2・3面>1面つづき「県政を変え、後期高齢者医療制度はすぐに廃止を」／新連載「身近に考えたいメンタルヘルス」／建設協力債にご協力ください／クッキング＝スペインメロンパン／あやめの里収穫祭／診療案内 <4面>「生きる力と向きあって」

へいわと健康

だれでも、いつでもかかれる、安心・安全の医療をめざして

☎631-0818 奈良市西大寺赤田町1-7-1
医療法人平和会吉田病院 法人事務局
発行責任者 常務理事 田中義夫
☎(0742)45-4601(内線216)FAX(0742)45-5085
http://www.heiwakai.or.jp/



政治を変えよう 私たちの要求

- ・国保広域化をやめ、県平均で近畿一高い国保料引き下げを
- ・医療費は中学卒業まで無料に
- ・後期高齢者医療制度はすぐに廃止を

住民の命を守る。行政を実現しよう

国保広域化・高齢者医療制度・消費税増税を許さない

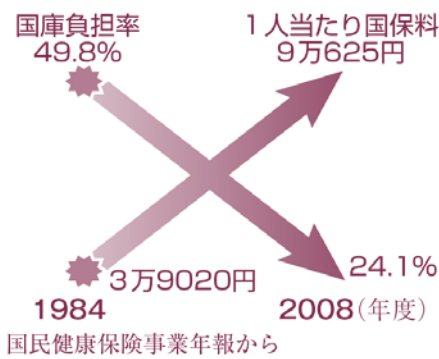
昨年の10・21国民大集会

表1 ●所得300万円世帯の国保料

4人家族(40歳代の両親+子2人)

奈良市	52万3140円
吹田市	40万1900円
高槻市	39万2102円

グラフ1 ●国保会計の国庫負担率と国保料



国民健康保険事業年報から

国庫負担減が根本原因

4700万人が加入する国民健康保険が、今危機に直面しています。国保料(税)が高すぎて滞納者が急増しているのです。所得300万円の世帯に対し40万円を超える(表1)負担です。国保料の収納率は9割を切り、10年度は8割に落ち込んでいます。自治体に求められる「住民の命を守る義務」を考えました。

滞納者への差し押さえが倍増

国民健康保険法は、保険料負担が困難な者への保険料減免や、窓口負担の減額・免除を定めています。私的な保険ではなく、生存権を守る社会保障として、保険料を払えない場合でも医療から排除しない仕組みです。自営業者や住民が主体の国保加入者の平均年齢が55歳(組合)

滞納者への差し押さえが倍増

政権交代した民主党政府は、それまでの保険証の取り上げに加え、自治体を競わせて過酷な国保料(税)徴収に駆り立ててきました。いま滞納者の財産の差し押さえ、差し押さえ物件のインターネット

広域化で命は守れない

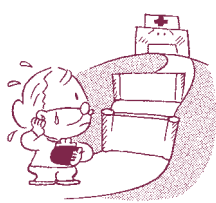
市、同じく分割納付中の方の年金全額を差押えた(群馬)などの異常さです。2月には、年金を差押えられた高齢者が自殺されたニュースが自国で続出しています。

医療費と消費税は上げたらあかん

あやめ池在住のIさんにお話を聞きました。高齢者は、国保料、介護保険料を合わせて毎月1万円近く、そして診療所と薬局の窓口負担があります。そこに何かあると、どうにもならないのが日本の医療の現状です。私も以前、手術を受けたとき、支払いはとも大変でした。「病気をたくさん持つてる人は大変だろう

な」「貧乏人は死ぬと」「いつか」「これが率直な気持ちです。まして、保険証取り上げは命にかかります。どうしても言いたいことは、2006年に奈良で起こった妊産婦の事故です。本当に気の毒でした。こんな恥ずかしい状況の原因は、医師不足です。これは福祉国家といえるのでしょうか。医師はもつとふやせるはず。医療は人間の根源的な問題なのです。

消費税を上げるといいますが、ダイヤモンドも大根も同じ税率なのはおかしい。テレビで与党が「面倒だから」と。こんな日本の財源に消費税というのはまじがいです。国民ももつと賢くならな



自分の地位と収入に直結する相撲取りが、自己保身の為に作り出した組織的な勝ち星売買制度が発覚した事件。今回は証拠が確保されて力士が自由して明確に露呈しただけ、動く金額は数十万円単位。▼もう一つは小沢裁判。こちらは有力な国会議員がその権力を利用して裏金をつくり、議員集団を維持して国政を動かそうとした事件。懲りない政治家の古くから繰り返されてきた新鮮味のない事件、動いた金額は数億円単位。▼さて、どちらが悪い事件か。重大性からも金額の観点からも後者の方が罪は重い。しかし今、テレビの扱いは圧倒的に前者。本日の新聞は1面が前者、2面に後者と扱いは逆転している。マスコミは自らニュースの重大性を操作して報道する。▼しかし、マスコミによらない情報伝達の方法が出現し、急速に拡大している。インターネットによる方法だ。マスコミに操作・統制されない情報がインターネットで広がり、ユニシア国民は蜂起して独裁を崩した。今エジプトに波及、近々アジアにも拡大か。

へいわの丘
やっばりそうか、という話が二つ。▼ひとつは大相撲八百長事件。勝ち負け